

九州大学北京事務所

メールマガジン

2008年4月号 (Vol. 3 No. 4)

目次

2008/4/30

○ トピックス

NTT北京事務所真崎所長ご一行 来所

中国人民大学商学院高級進修生久我由美さん 来所

日中青少年友好交流年記念交流会「桜を見る会」 開催

恒例の「希平会」

九州大学農学院名誉教授 横川洋先生 来所

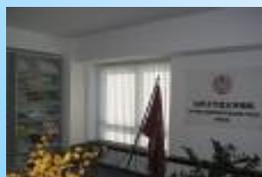
○ 2008年オリンピック特集

○ 九大人

大連理工大学教授 瀋永明

○ 中日最前線

○ Q-ナビ



編集代表者:九州大学北京事務所長 九州大学中国同窓会事務局長 宋 敏
発行:九州大学北京事務所 九州大学中国同窓会事務局
住所:〒100086 北京市海淀区中関村南大街甲6号铸誠大厦B座2008室
電話:+86-10-5158-1387 ファックス:+86-10-5158-1367
メール:peiking_office@yahoo.co.jp (日语)
kyudai_ob@kyushu-ucn.net, kyudai_ob@126.com (中文)



トピックス

1

NTT北京事務所真崎所長ご一行 来所



4月8日(火)、NTT北京事務所真崎秀介所長と村川一雄副所長が来所。九州大学とNTTとの間で包括連帯をされているので、今回訪問の目的は主に意見交換を行い、現地事務所間の連携の可能性を検討することである。NTT北京事務所ではNTTR&D成果を如何に中国に応用するかとのことで取り組んでおり、その辺りを紹介すると同時に、九大事務所の活動などについても尋ねた。北京事務所の宋敏所長は来訪者と会談した。

2

中国人民大学商学院高級進修生久我由美さん 来所



4月10日(木)、九州大学大学院経済学府博士後期課程に在籍、高級進修生として中国人民大学商学院に留学している久我由美さんが来所した。

久我さんは研究のため、2006年から中国人民大学で留学生生活を始めた。研究の面では、メールや電話で九州大学の指導教官に引き続き指導を受け、人民大学の指導教官にも意見を伺い、普段は研究が中心で、図書館で資料を探したり、

本を読んだり、機会があればシンポジウムにも参加していると熱心に現地研究に取り込んでいるという。

3

中日青少年友好交流年記念交流会「桜を見る会」 開催

4月19日(土)、日本国大使館、北京日本人会及び中国日本商会の共催による中日青少年友好交流年記念交流会(略称:桜を見る会)が北京の日本国大使公邸で開催された。

今回のイベントは、中日青少年友好交流年を機に、日本への留学や日本での研究経験のある人を対象とするレセプションである。凡そ600人位がこのイベントに参加した。九州大学OBが20余人、招へいされ、そのうち上海など京外のOBも居た。

もう四月下旬のこととて、北京の日本国大使公邸の桜が殆ど散らかってしまったが、開花時期の映像を見ながら、日本の食べ物を楽しむことによって、古い友情を温かめ、新しい友情を培うこともできた。また、交流会に多くの企業や関係機関の出品、展示、それに文化の出し物もあって、会場の雰囲気が一層盛り上がった。





トピックス



4

恒例の「希平会」

4月21日(月)午後、恒例の希平会は北京早稲田大学の会議室(中関村資源ビル7階)で開催された。北京に駐在する日本の各大学北京事務所の担当者のほか、日本大使館、JSPS、JSTなどの代表も参加した。

今回の会議は、ゲスト紹介、各機関からの報告など及び組織・業務の紹介に続き、主に中国教育部学位と大学院生教育発展中心認証処の李屏処長が講演を行った。李屏処長は認証処の主旨、業務、発展状況などについて詳しく紹介し、その後、参加者と意見・情報交換をした。

会議後、参加者が「俏江南」レストランで懇親会を催し、交流を深めた。



5

九州大学農学院名誉教授 横川洋先生 来所



29日(火)、九州大学農学院名誉教授横川先生が九大北京事務所を訪問した。北京事務所宋敏所長は横川先生と会談し、将来の日中共同研究や学術交流などについて深く意見交換を行った。





2008年オリンピック特集



最新情報

- 「鳥の巣」が世界で最も影響力のあるデザインに
http://japanese.china.org.cn/olympic/2008-04/07/content_14465410.htm
- 松下、北京五輪に可聴・映像周波数設備提供、賛助規模は史上最高
http://203.192.6.79/200804/aaa411092551_4.htm
- 「東京は北京の経験を参考にしたい」東京オリンピック招致委員会事務総長をインタビュー
http://japanese.china.org.cn/jp/txt/2008-04/15/content_14957087.htm
- 北京五輪の安全守れ＝物流拠点、日本メディアに初公開
<http://news.goo.ne.jp/article/jiji/world/jiji-080419X458.html>
- 愛ちゃん、聖火ランナーとして興奮を隠さず
<http://japanese.cri.cn/151/2008/04/26/1@116750.htm>

五輪の協力都市

2008五輪サッカー予選開催地 ——秦皇島

秦皇島は河北省の北東部に位置し、北には燕山山脈があり、南は渤海に臨み、東は遼寧省に接し、西は北京、天津に近い。総面積は7812平方メートル、人口264万人である。秦皇島は山と海とに囲まれ、要害の地であり、昔から兵略家が相争う土地であった。古くから「京畿の要路」と言われ、二つの都の押さえと言われてきた。長い歴史の蓄積があり、自然資源も豊富であり、秦皇島の自然景観と人文景観もすばらしい。



秦皇島オリンピック・スポーツセンター・スタジアムは2008年北京五輪のサッカー予選の競技場である。スタジアムは帆船の形をして膜状の屋根がかかっている。6億3千元と2年をかけて建設された。スポーツセンター全体はサブグラウンド2面、体育館などがある。敷地面積37ヘクタール。33000人が収容できる。

眩しい五輪スター

聖火リレー 最初の中国人ランナー

「蛙王」羅雪娟
(Luo Xuejuan)

出身：浙江省杭州市
生年月日：1984年1月26日
身長：167cm
体重：61kg



2001年の福岡で開かれた世界水泳で、平泳ぎ女子50メートルは30秒84、100メートルは1分07秒18で金メダル、200メートル平泳ぎでは2分25秒29で銅メダルを獲得。

2003年の世界選手権も50、100メートルとも二連覇。2004年アテネオリンピックでは女子100メートル平泳ぎで1分6秒64で金メダルを獲得し、五輪新記録となった。

2007年1月29日 心臓疾病を理由に引退表明。

北京・食いまくり

豆汁(ドウズー)

豆汁は、緑豆を煮てから、すりおろして作った豆乳を乳酸発酵させた酸味のある飲料。北京の伝統的な栄養食品のひとつ。

ヨーグルトなどの乳製品の動物性タンパク質を、緑豆に25%程度含まれる植物性タンパク質に変えたもの。宋代に既にあったことが知られており、北京の庶民の味といわれるが、地元北京でも独特の酸味と臭いを嫌う人が多い。焦圈や辣絲などとともに食べられることが多かった。



■ 九 大 人 ■

潘永明

☆☆☆☆☆

大連理工大学教授
博士指導教授
長江学者

恩を心に抱き、
浮き沈みを一笑に付する。



足 跡

- ・ 1979年—1983年 成都科技大学（今の四川大学）学士
- ・ 1983年—1985年 水電部天津観測設計院 助役技師
- ・ 1985年—1988年 成都科技大学（今の四川大学）修士
- ・ 1988年—1991年 成都科技大学（今の四川大学）博士
- ・ 1991年—1993年 大連理工大学海岸と近海工程国家重点実験室ポストドクター
- ・ 1993年—1996年 大連理工大学海岸と近海工程国家重点実験室の助教授
- ・ 1996年—今 大連理工大学海岸と近海工程国家重点実験室の教授
- ・ 1998年—今 大連理工大学海岸と近海工程国家重点実験室の博士指導教授
- ・ 1998年—1999年 日本九州大学の外国研究者
- ・ 2001年—今 “国家杰出青年科学基金” 获得者
- ・ 2002年—今 教育部「長江学者奨励計画」特聘教授

インタビュー

- 1 九大にいる期間に一番忘れられないことあるいは印象深いことはありませんか。
九州大学工学部建設都市工学科のことは私にとって一番忘れられないことです。小松利光先生をはじめ、研究室の皆さんが協力し合い、精一杯で学問的なことに追求している振りが一番印象に残ったものです。
- 2 博士号を取得したあと、大連理工大学を選んだ理由は何でしょうか。
理由といえば、大連理工大学には近海環境水動力学研究用の国家レベルの研究条件を備え、つまり、海岸と近海工程国家重点実験室を持っているからです。
- 3 座右銘のような気に入る言葉はありませんか。
そうですね。「恩を心に抱き、浮き沈みを一笑に付する。」という一句が大好きです。



最新動き



ソニーのイメージキャラクターに、ピアニストの郎朗が決定
ソニー株式会社はニューヨークでこのほど、中国出身の新星ピアニスト・郎朗(ラン・ラン)氏を世界的なイメージキャラクターに起用したことを発表した。



写真:ピアニストの郎朗氏(中央)とソニーの会長兼最高経営責任者(CEO)のハワード・ストリンガー氏(右)が記念撮影



チベット 暴力事件で被害を受けた商店の営業回復を支援
チベット自治区は12日、多くの優遇政策を取り、税収や交通運輸費用、医療支援、失業支援、生活支援といった多方面からラ薩(ラサ)「3・14事件」で被害を受けた商店を支援し、生産や経営の回復を後押しする。「新華網」が伝えた。

ラ薩「3・14事件」後の生産・経営秩序回復業務チーム弁公室によると、2008年3月1日から2010年2月28日までの2年間、被害を受けた商店からの営業税、都市維持建設税、教育付加費用、個人所得税を免除、ラ薩市のタクシー運転手の個人所得税を半額免除する。同時に旅客・貨物運輸付加費や運輸管理費を半額免除する。

トレンドキャッチ

日本 携帯電話を使った「香り発生装置」が開発



NTTコミュニケーションズはこのほど、「香り発生装置」を東京で発表した。この装置は携帯電話を使って同社の専用サイトから香りのリストをダウンロードし、赤外線を通じて内部に16種類の香料が組み込まれた「香り発生装置」に送信すると、利用者の好きな香りが放出されるというもの。

(「人民網日本語版」2008年4月9日)

今月の
キーワード

福田首相が中国の楊潔チ外相と会談

日本の福田康夫首相は4月18日、東京で日本を訪問している中国の楊潔チ外相と会談しました。

楊潔チ外相は福田首相に胡錦濤国家主席の親書を手渡しました。その中で、胡錦濤国家主席は「今度の日本訪問を通じて、両国の戦略互恵関係を全面的に深め、両国関係の長期的かつ健全、安定した発展を促していきたい」と述べました。

これに対して、福田首相は「胡錦濤国家主席の今度の日本訪問は非常に重要な意義がある。日本政府および私本人も胡錦濤国家主席の日本訪問を切実に期待している。また、今度の訪問を実りのあるものにするため全力を挙げていきたい」と述べました。

また、チベット騒乱について楊外相は「ダライ集団の本質を認識してほしい」と述べたのに対し、首相は「国際的な問題になっている現実を直視する必要がある。北京五輪に影響させるべきではない」として、解決に向けての中国側の努力を促した。楊外相は「ダライ側が分裂活動や暴力活動、五輪破壊活動を停止すれば対話の扉は開かれている」と語り、ダライ・ラマ14世側に問題があることを強調した。

福田首相はまた、地球温暖化対策問題について「世界のすべての国が参加する仕組みが必要で、中国の参加が重要だ」と述べ、日本が可能な限り中国に協力する用意があることを伝えた。楊外相は、中国も参加する7月の主要国首脳会議(北海道洞爺湖サミット)拡大対話の成功に向け「中国としてしかるべき貢献をしていきたい」と述べた。一方、双方は東シナ海のガス田開発問題について解決に向けて努力を継続していくことで一致した。





■ Q-ナビ ■



情報カレンダー

- 08.04.07 2008年来中留学工作会議が北京で開催
<http://www.csc.edu.cn/News/ca21d4e9b10c4ab599926fd7040ad0dc.shtml>
- 08.04.10 2008年中国普通高等学歴教育学生募集資格を持つ高等学校の名簿が公表
<http://www.moe.gov.cn/edoas/website18/info1207793967789616.htm>
- 08.04.11 中国、大学生に生活補助金を支給、物価上昇に対応
http://203.192.6.79/200804/aaa314100531_3.htm
- 08.04.12 第二回大中物産杯日本語弁論大会、北京で開催
<http://japanese.cri.cn/151/2008/04/14/1@115887.htm>
- 08.04.13 日本への自費留学生34人に国が奨学金授与
http://www.pekinshuho.com/ztl/txt/2008-04/14/content_110172.htm

中国の教育は いま

中国政府が「211プロジェクト」第3期計画の開始を発表

中国教育部高等教育教學評価センターによると、中国政府は、2008年1月16日に開催した国務院常務会議で、高等教育振興策の一つとして10年以上に渡り進めてきた「211プロジェクト(211工程)」の成果を認め、高等教育のさらなる改革のため、引き続き同プロジェクトの第3期計画を開始することに同意したと発表しました。

【211プロジェクト】21世紀に向け、約100校の重点大学と重点学科を設立することを目的として、予算の重点配分を行う中国教育部の教育振興策。「211」という名称は、21世紀の「21」と「100の大学」の冒頭の「1」との組合せによる。1995年に開始され、現在までに2期を経ている。

http://www.pgzx.edu.cn/main/webShowDoc?channel=syxw_syxwnr&docID=2008/01/17/1200533085674.xml

写真で見る九州



シーサイドももち——福岡市早良区百道

「シーサイドももち」は1986年に行われたアジア太平洋博覧会の跡地で、その後開発された福岡の新しいリゾート地です。ここには福岡タワー、シーサイドももち海浜公園、福岡市総合図書館、福岡市博物館などがあり、また報道関連各社、情報関連企業や情報技術研究開発機関、高層オフィスビル、マンションが林立しています。地行浜地区には福岡ドームや高層ホテルのJALリゾートシーホークホテル福岡などもあります。



ここは博多湾に面した海浜公園でもあり人工ビーチではビーチバレーをする若者が歓声をあげています。今もっとも注目のデート&ドライブスポットとなっています。

